

令和8年度 筑波大学 人文社会科学研究群 公開講座

筑波大学大学院で 日本語教育を研究する2026

2026年 8月 20日(木)～8月21日(金)

2日間とも 13:00～16:30

日本語教育で
将来を考える人
集まれ!!

参加費：無料

参加対象：真に進学を希望する方（今年度以外も可）

参加申込：<https://forms.gle/vsNRsQ3n2pxRrt1V9>

参加者上限：100名（抽選）

参加の可否は1週間前を目処にお知らせいたします。

申し込みが多数の場合は早期に申し込みを打ち切る可能性があります。



参加申込

Zoom ミーティングでの各研究室の紹介のあと、
ブレイクアウトルームで自由に各研究室の教員や大学院生に話を聞くことができます。

主催：筑波大学 人文社会科学研究群 国際日本研究学位プログラム 日本語教育学領域

協力：筑波大学 グローバルコミュニケーション教育センター 日本語・日本文化総合教育研究センター

筑波大学 グローバルコミュニケーション教育センター 日本語学習環境支援共同利用拠点

問い合わせ先：ヴァンバーレン ルート（筑波大学 人文社会系 准教授）

[vanbaelen.ruth.gp\[a\]u.tsukuba.ac.jp](mailto:vanbaelen.ruth.gp[a]u.tsukuba.ac.jp) [a]を@に書き換えてください。

13:05 - 14:45

筑波大学 人文社会系 教授

小野 正樹

「語用論と実用論から見る日本語教育」



筑波大学 人文社会系 准教授

関崎 博紀

「日本語の雑談の巧みさを学習者はどう習得するか」



筑波大学 人文社会系 助教

有賀 照道

「言語の理解のためのピッチの役割」



筑波大学 人文社会系 准教授

ブッシュネル ケード

「インプット理論と日本語教育：
AI の時代における教師の役割とは」



筑波大学 人文社会系 准教授

日高 晋介

「日本語から世界の言語へ、世界の言語から日本語へ
ー記述言語学と日本語教育の接点ー」



15:10 - 16:25

当日登壇の教員 + 院生が
ブレイクアウトルームにて懇談

5 回 × 15 分で自由に教員や学生と話すことができます。
具体的な指導環境や学生目線からの学生生活などを自由に
聞くことで自身の学生生活をイメージしてください。

13:05 - 14:45

筑波大学 人文社会系 准教授

稗田 奈津江

「母語話者と非母語話者の比較を通して考える」



筑波大学 人文社会系 助教

岩崎 拓也

「日本語の記号・符号使用の諸問題」



筑波大学 人文社会系 助教

三好 優花

「日本語教育現場からはじまる文法研究」



筑波大学 人文社会系 助教

鏡 耀子

「「です・ます」から考える日本語学と
日本語教育の接点」



筑波大学 人文社会系 准教授

ヴァンバーレン ルート

「社会と日本語教育の関連を考える」



15:10 - 16:25

当日登壇の教員 + 院生が
ブレイクアウトルームにて懇談

5 回 × 15 分で自由に教員や学生と話することができます。
具体的な指導環境や学生目線からの学生生活などを自由に
聞くことで自身の学生生活をイメージしてください。